Princeton

Bluetooth ヘッドフォン PTM-BAH3

Bluetooth Headphone PTM-BAH3

ユーザーズガイド

お買い上げありがとうございます。
ご使用の際には、必ず以下の記載事項をお守りください。
・ご使用の前に、必ず本書の「安全上のご注意」「製品保証規定」をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用ください。
・別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。
・本書は保証書と一緒に、大切に保管してください。

ご使用になる前に

●一部都道府県によっては、条例によりハンズフリーの使用が制限されている場合があります。
●運転中の携帯電話等の使用はおやめください。
⚠ 本製品からの発信や着信操作、電話機からの発信や着信操作を行う場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
●ご使用の携帯電話機によっては、通話中にエコー現象（通話相手に自分の声が少し遅れて聞こえる現象）が発生する場合があります。このような場合、電話機の音量を下げてみてください。ご使用の電話機によっては、解消されない場合がございます。予めご了承ください。
●電車などで使用する場合には製品仕様上、音量を上げすぎると音漏れが発生する場合があります。周りの人にご迷惑をかけないようにご使用をお願いします。
●長い時間大音量で使用すると、聴力に影響を与える場合がございます。
使用する際の音量には十分ご注意ください。
●再生機器側の音量は、小さい音量から徐々に調節してください。突然大音量で聞くと、聴力に影響を与える場合がございます。
●通信機器と接続して使用する際は、各機器の取扱説明書をお読みの上、使用環境条件等を守って正しくお使いください。

最新情報の入手方法

プリンストンテクノロジーでは、インターネットのホームページにて最新情報や販売店を紹介しております。

URL http://www.princeton.co.jp/

ユーザー登録について

弊社ホームページ にて、ユーザー登録ができます。

弊社ホームページ「ユーザー登録」
http://www.princeton.co.jp/support/registration/top.html

※ユーザー登録されたお客様には、弊社から新製品等の情報をお届けします。
※ユーザー登録後に、本製品を譲渡した場合には、ユーザー登録の変更はできませんので、ご了承ください。

保証規定について

付属保証書をご参照ください。
なお、保証書の再発行はできませんのであらかじめご了承ください。

製品に関するお問い合わせについて

テクニカルサポート

電話：03-6670-6848
受付：月曜日～金曜日の 9：00～12：00、13：00～17：00（祝祭日および弊社指定休業日を除く）

Webからのお問い合わせ
http://www.princeton.co.jp/contacts/top.html

仕　様

適合規格	Bluetooth ver2.1		
伝送方式	FH-SS（周波数ホッピング方式）		
周波数範囲	2.402GHz～2.4835GHz		
通信距離	約10m ※環境よって異なります。		
発信出力	Class2対応		
電　源	リチウムポリマー充電池		
対応プロファイル	HSP、HFP、A2DP、AVRCP		
セキュリティ	128ビット暗号化		
連続使用時間※	連続通信時	約9時間	
	待ち受け時	約250時間	
動作温度	10℃～40℃		
動作湿度	10%～85%（結露なきこと）		
質　量	152g		
対応コーデック	SBC		
音響効果	SRS WOW HD		
ヘッドセット	レシーバー部	形式	密閉ダイナミック型
		ドライバーユニット	口径40mm
		再生周波数帯域	10～20,000Hz
		伝送帯域	10～20,000Hz
マイクロホン部	マイクロホン部	形式	エレクトレットコンデンサー型
		指向特性	全指向性
		有効周波数帯域	100～4,000Hz

プリンストンテクノロジー株式会社

2008年 6月 第1版　Printed in CHINA

安全上のご注意（必ずお読みください）

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては十分注意してください。

本製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
本製品のご使用に際しては、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、必要なときすぐに参照できるように、本書を大切に保管しておいてください。
本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
⚠警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となることがあります。
⚠注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生することがあります。

図記号の意味
- ⚠ 注意を促す記号（△の中に警告内容が描かれています。）
- ⃠ 行為を禁止する記号（⃠の中や近くに禁止内容が描かれています。）
- ❗ 行為を指示する記号（●の中に指示内容が描かれています。）

⚠危険

- 自転車に乗りながらや、自動車・オートバイなどの運転中は、絶対にヘッドフォンを使用しないでください。交通事故などの原因となることがあります。
- 運転中の携帯電話等の使用はおやめください。運転中の携帯電話および本製品を操作は交通事故の原因になります。本製品からの発信や着信操作、電話機からの発信や着信操作を行う場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
- 歩行中にヘッドフォンをご使用になる時は、周囲の交通に十分注意してください。交通事故などの原因となることがあります。
- 航空機の運行の安全に支障をきたす恐れがあります。
航空機内では、使用しないでください。

⚠警告

- 発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。ただちに本体の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなってから販売店に修理を依頼してください。
- 内部に水などの液体が入った場合、異物が入った場合は、電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。
- 浴室等、湿気の多い場所では使用しないでください。火災、感電の原因になります。
- 本製品に水を入れたり、濡らしたりしないようにしてください。火災、感電の原因になります。海岸や水辺での使用、雨天、降雪中の使用には特にご注意ください。
- 雷鳴が聞こえたら、ACアダプタやアンテナ線には触れないでください。感電の原因になります。
- 本製品は、日本国内での使用を前提に設計、製造されています。付属のACアダプタ（AC100V）以外での使用は避けてください。火災、感電の原因になります。
- 電源の接続は必ず同梱のACアダプタをご使用ください。同梱のACアダプタを使用せずに、直接電源コンセントや自動車のシガーライター差込口に接続しないでください。感電したり高い電圧が加えられることによって、過大な電流が流れ、内蔵されている電池から漏液、発熱、発火または破損する原因となります。
- 本製品を落とす、ものをぶつけるなどの衝撃が加わった場合やキャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。
- 本製品の上に、花瓶、コップ、植木鉢、化粧品や薬品などの入った容器、アクセサリなどの小さな金属物等を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因になります。
- 本製品を分解、改造しないでください。本製品や携帯電話の火災、感電、破損の原因になります。
- 熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。火災や故障の原因になります。
- 電源ケーブルが損傷（芯線の露出、硬化してひび割れている、断線など）した場合は、直ちに使用を止めてください。そのまま使用を続けると、感電、火災の原因になります。
- 電源ケーブルの上に重いものや本製品を載せる、電源ケーブルを傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、壁や棚などの間に挟み込ませるなどはしないでください。コードが破損して火災、感電の原因になります。
- 電源ケーブルを熱器具の近くや直射日光のあたるところに近づけないでください。コードの皮膜が溶けて、火災の原因になります。
- 電源ケーブルを人が通るところなどひっかかりやすいところに這わせないでください。躓いて転倒したり、怪我や事故の原因になります。

⚠注意

- ヘッドフォンをご使用になる時は、音量を上げすぎないように注意してください。
耳を刺激するような音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- ヘッドフォンが肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して下さい。
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気が当たる場所には置かないでください。火災、感電の原因になることがあります。
- 万が一の事故防止のため、この機器を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからACアダプタを抜けるようにしてください。
- 充電完了後に、長時間ACアダプタをコンセントに接続したままにしないでください。
充電終了後は、安全のために必ずコンセントからACアダプタを抜いてください。（6時間以上の充電はしないでください）
- 充電は必ず室内で行ってください。
- お手入れの際は、安全のためACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
- ACアダプタや充電ケーブルを抜くときは、ケーブルを引っ張らず必ずコネクタ部分をもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。
- お子様がむやみに手を触れないようご注意ください。怪我の原因になることがあります。
- 自動車内で使用した場合、車種によりまれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なう恐れがありますので、そのような場合は使用しないでください。
- 本製品や携帯電話のコネクタ部分を、むやみに指で触れたり金属を接触させたり水気や埃を付着させないようご注意ください。接触不良や静電気により、本製品および携帯電話の故障や感電の原因になります。
- 本製品に動作対応している携帯電話機以外の機器に接続しないでください。本製品または接続している機器の故障の原因になります。

使用上のご注意

本製品で使用する電波について

本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。
以下の近くでは使用しないでください。
●電子レンジ/ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
●工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
●特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
●IEEE802.11g/b無線LAN機器
上記の機器などはBluetoothと同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。

2.4GHz帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
●この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
●万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）については、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。
●その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、弊社カスタマーサポートへお問い合わせください。

本製品の内蔵充電池について

●長時間（4時間以上）の充電はしないでください。
●内蔵充電池には寿命があります。
使用状態によって異なりますが、約300回繰り返し充電できます。十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきたり、ご使用いただけない場合は、電池の寿命です。弊社では電池の交換を行っておりませんので、新しい製品をご購入ください。なお、電池の寿命は使用状態などによっても異なります。予めご了承ください。
●内蔵充電池は消耗品ですので、保証の対象にはなりません。

良好な通信のために

●他の機器とは、見通し距離で約10m以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
●電気製品（AV機器、OA機器など）から2m以上離して通信してください。（特に電子レンジは通信に影響を受けやすいので3m以上離してください。）
正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
●無線機や放送局の近くで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
●使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをおすすめします。
他のBluetooth機器からの接続要求に応答するために常に電力を消費します。

無線LAN機器との電波障害について
●IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、お互いを近くで使用すると、電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

テレビ/ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください
●テレビ/ラジオなどはBluetoothとは異なる電波の周波数帯を使用しています。そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。ただし、これらの機器をBluetooth製品に近づけた場合は、本製品を含むBluetooth製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

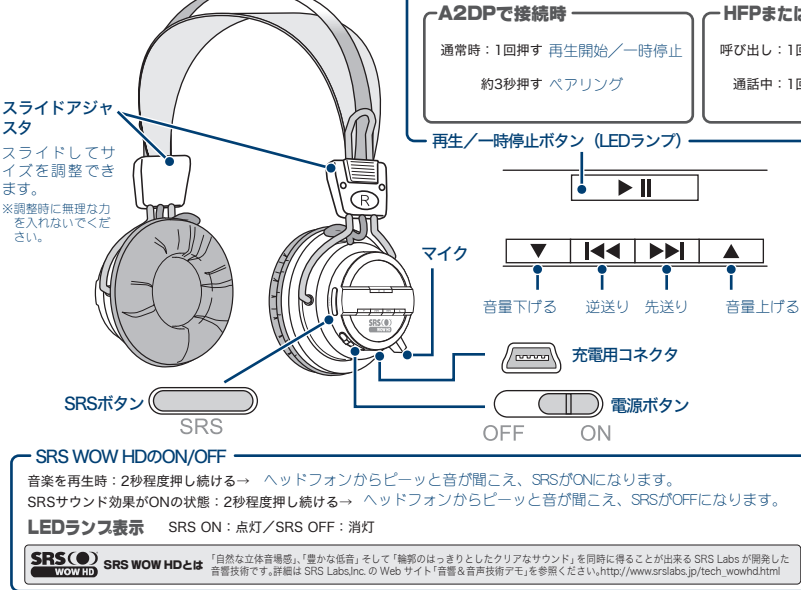
間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません
●本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用される木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。
●携帯電話および本製品は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性もありますので、ご留意ください。

付属品の確認

本製品の付属品の内容は、次のとおりです。
お買い上げの商品に次のものが同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。

・ヘッドフォン
・充電用USBケーブル
・ACアダプタ
・ユーザーガイド（本書）

各部の名称と主な機能

ヘッドフォン

A2DPで接続時
通常時：1回押す　再生開始／一時停止
約3秒押す　ペアリング

HFPまたはHSPで接続時
呼び出し：1回押す　通話開始
通話中：1回押す　通話終了

LEDランプ表示
電源ON　青のランプが点灯 → 点滅。
ペアリングモード　青と赤のランプが交互に点滅。
通信中　青のランプが点滅。
バッテリー残量低下　赤のランプが点滅。

再生／一時停止ボタン（LEDランプ）

SRS WOW HDのON/OFF
音楽を再生時：2秒程度押し続ける→　ヘッドフォンからピーッと音が聞こえ、SRSがONになります。
SRSサウンド効果がONの状態：2秒程度押し続ける→　ヘッドフォンからピーッと音が聞こえ、SRSがOFFになります。
LEDランプ表示　SRS ON：点灯／SRS OFF：消灯

SRS WOW HDとは　「自然な立体音場感」、「豊かな低音」そして「輪郭のはっきりとしたクリアなサウンド」を同時に得ることが出来る SRS Labs が開発した音響技術です。詳細は SRS Labs,Inc. の Web サイト「音響＆音声技術デモ」を参照ください。http://www.srslabs.jp/tech_wowhd.html

HINT
音量が小さい場合
必要に応じて、再生機器側の音量または本製品の音量を音量ボタンで調節してください。

「再生／一時停止ボタン、逆送り、先送り」を使用するには、A2DP/AVRCP プロファイルに対応している機器を使用する必要があります。

使用後は必ず電源をOFFにしてください。
ヘッドホンが通信中または待機中（青いランプが点滅）のまま放置すると、バッテリーが早く消耗してしまいます。

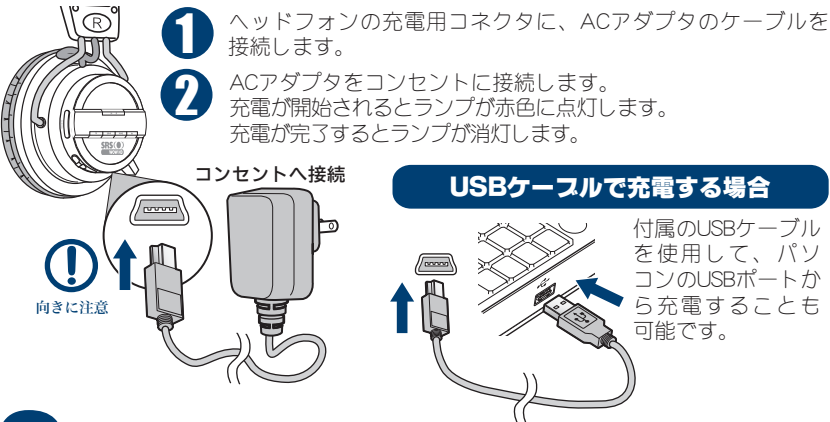
裏面へ続く

1 充電をする

ご購入時の本製品は充電されていません。初めてお使いになるときは必ず充電をしてからご使用ください。
購入後初めて本製品を使用する際には、LEDランプが消灯してから1時間程度長く充電してください。

1. ヘッドフォンの充電用コネクタに、ACアダプタのケーブルを接続します。
2. ACアダプタをコンセントに接続します。
充電が開始されるとランプが赤色に点灯します。
充電が完了するとランプが消灯します。

USBケーブルで充電する場合

付属のUSBケーブルを使用して、パソコンのUSBポートから充電することも可能です。

- 工場出荷時のバッテリは充電されていません。初めてお使いになるときは必ず充電をしてください。
- 4時間以上充電しないでください。
- 充電中は本製品は使用できません。
- USBケーブルで充電する場合、ACアダプタ使用時よりも時間が余計にかかる場合があります。
- バッテリの充電残量が少なくなると、ヘッドフォンから、ポーッポーッポーッと音がなり、LEDランプが赤く点滅します。

完全に充電するまで ▶▶▶ 約 **2** 時間

完全充電時の使用時間
使用時間：連続 **9** 時間
スタンバイ状態：連続 **250** 時間

※使用環境、状況により時間は変わります。

2 使ってみよう

車を運転中に携帯電話の操作をすることは道路交通法により禁止されております。

利用可能な機器

Bluetooth機能を搭載した携帯電話、オーディオ機器、パソコン等。

Bluetoothヘッドフォンとして使用する場合、接続機器側で「A2DP」「AVRCP」に対応している必要があります。
Bluetoothヘッドセットとして使用する場合、接続機器側で「HFP」「HSP」に対応している必要があります。

携帯電話やオーディオ機器と接続する

Bluetooth機能を搭載した携帯電話やオーディオ機器のワイヤレスヘッドフォン、ワイヤレスヘッドセットとして使用できます。

- Bluetooth対応のポータブルオーディオや携帯電話をバッグなどに入れたまま、ワイヤレスで音楽を試聴可能。
- ヘッドフォンの操作ボタンで音楽の再生、停止、早送り、巻き戻しが可能。
- オーディオ機器と同時に携帯電話のハンズフリーとしても使用可能。音楽を聴きながら着信時には自動的に切り替わります。

ヘッドフォンとBluetooth機器の通信設定（ペアリング）

ペアリングを行う前に 通信設定（ペアリング）を行う前に本製品のバッテリが充電されているか確認してください。バッテリが消耗している場合、正しく通信できない場合があります。完全に充電された状態で、あらためて通信状態を確認されることをお勧めいたします。

使用する機器によって手順が多少前後する場合があります。また表現が異なる場合がありますので、機器の設定を行う時は、接続先の機器の取扱説明書もご用意ください。
オーディオ機器と携帯電話を同時にペアリングで登録することはできません。同時に使用したい場合は、別々にペアリングを行ってからご使用ください。

1. ヘッドフォンの電源をONにします。
2. ご利用のBluetooth機器（携帯電話やオーディオ機器）で、Bluetooth機器の登録を行います。
ご利用の機器の取扱説明書に従って、「Bluetooth機器の検索」を行ってください。

使用する機器によっては、検索開始時に機器の暗証番号入力が必要な場合があります。

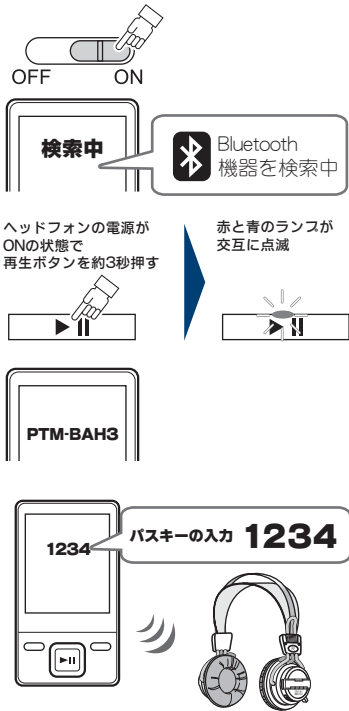
3. Bluetooth機器がBluetooth機器の検索を開始したら、青と赤のランプが交互に点滅するまで、再生ボタンを押したままにします。（ペアリング販定）
点滅したら、ボタンを離します。
通信設定を開始します。
4. Bluetooth機器が、本製品を検出すると「PTM-BAH3」として登録されます。
登録の際に、パスキーの入力を要求された場合は、『１２３４』を入力してください。
5. 使用するプロファイルを選択します。
ヘッドフォンとして使用する場合→ A2DP（オーディオ）を選択
ハンズフリーとして使用する場合→ HFP（ハンズフリー）を選択

機器によっては自動的に選択される場合があります。

6. Bluetooth機器の指示に従って、登録を完了してください。

これで設定完了です。

OFF ON
検索中
Bluetooth 機器を検索中
ヘッドフォンの電源がONの状態で再生ボタンを約3秒押す
赤と青のランプが交互に点滅
PTM-BAH3
1234
パスキーの入力 1234

Bluetooth機能を搭載した携帯電話で、使用できる携帯電話の一覧は、弊社ホームページをご確認ください。
また、ご利用の携帯電話によって操作が行える機能や行えない機能がある場合があります。あらかじめご了承ください。
本製品を使用する際は、使用する機器のBluetooth機能をONにする必要があります。（詳しくは使用する機器の取扱説明書をご参照ください）

設定済みの携帯電話やオーディオ機器を使用する場合

一度設定したBluetooth機器は、再度設定をする必要はありません。

Bluetooth機器を接続待ちの状態（Bluetooth電源ON）にします。

※設定方法は、Bluetooth機器の取扱説明書をご参照ください。

▶ ヘッドフォンの電源を ON にします。ヘッドフォンから「ピーッ」と音が聞こえます。

電源ON
OFF ON

▶ 再生ボタンを1回押すと、Bluetooth機器と接続を確立します。

接続先の機器によっては、再生ボタンを押さずに、接続が確立される場合があります。

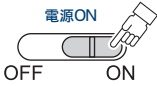
接続先の機器によっては、接続を確立する際に接続先の機器側で操作が必要な場合があります。

電話を受ける

ヘッドフォンの電源をONにして、携帯電話と正しく通信設定されているか確認してください。
携帯電話の呼び出し音が鳴ったら、
電源ボタンを1回押して通話を開始します。

通話を終了するには、再生ボタンを押します。

電話をかける

ヘッドフォンの電源をONにして、携帯電話と正しく通信設定されているか確認してください。

▶ **携帯電話で電話をかけます。**
通話している状態で、携帯電話を操作し、ヘッドフォンに通話を切り替えます。

▶ **ヘッドフォンのマイクで通話できます。**
※音声は、モノラルとなります。

ヘッドフォンの電源が切れている場合、または携帯電話との通信設定（ペアリング）がされていない場合、ヘッドフォンで電話を受けたり、通話することはできません。
携帯電話の機種によっては、通話開始や通話終了時の操作でボタンを押す回数が異なる場合や、携帯電話側の操作が必要な場合があります。

? 困ったときは

ヘッドフォン使用中に困ったとき

初めてお使いになるときは、ご使用前に充電を行ってください。

音声が小さい
- ヘッドフォンの音量を調整してみてください。

音声が聞こえません
- ヘッドフォンの電源がONになっているか確認してください。
- ヘッドフォンの音量が最小になっていないか確認してください。
- ヘッドフォンと接続先の機器の通信が確立しているか確認してください。
（ボタン操作一覧表参照）
- ヘッドフォンと接続先の機器の距離が決められた距離（約10m）以上離れていないか確認してください。

充電できない
- 本体と充電ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
（正しく充電が行われている場合、本体のLEDが赤く点灯します。充電が完了するとLEDは消灯します。）

音が割れる
- ヘッドフォンの音量を下げてみてください。
- 再生機器のボリュームまたはイコライザーなどの調整を行ってください。

雑音が多い
- 内蔵充電池の充電残量が少なくなっている場合があります。充電を行ってください。
- 接続先の機器の距離を近くしてください。
- 無線LAN、電子レンジ等、2.4GHzの周波数帯域を使用する機器の近くでは音が途切れたり、雑音が入る場合があります。その場合はできるだけ、ヘッドフォンと接続先の機器の距離を近くしてください。

ヘッドフォンと携帯電話や再生機器は、どれくらいの距離で使えますか？
環境によって異なりますが、最大10m以下でご利用ください。ヘッドフォンと接続先の機器の距離が10m以下でも、間に遮蔽物があったり電気機器があると、接続できなかったり、ノイズを拾いやすくなります。

Bluetoothアダプタを使用してパソコンと接続する

Bluetooth機能搭載パソコンやBluetoothアダプタを使用して、パソコンのワイヤレスヘッドフォンやワイヤレスヘッドセットとして使用することが可能です。Bluetoothヘッドフォンとして使用する場合、本製品の再生ボタンやジョグダイヤルを使用して、曲の再生、一時停止、早送りや巻き戻しなど、音楽再生の基本的な操作※を行うことが可能です。 ※機種により可能な操作が異なります。

機器の設定

1. ヘッドフォンの電源をONにします。
2. 接続機器側で、『Bluetooth 機器を検索する』状態にします。詳しい操作方法は、ご使用機器の取扱説明書を参照してください。
『Bluetooth機器を検索中』の状態にします。

Bluetoothアダプタを接続する前に、Bluetoothアダプタのインストールを完了させておく必要があります。（詳しくはBluetoothアダプタの取扱説明書をご参照ください）

3. 青と赤のランプが交互に点滅するまで、再生ボタンを押したままにします。
点滅したら、ボタンを離します。
接続機器と通信設定を開始します。

ヘッドフォンが電源ONの状態で約2秒押す
赤と青のランプが交互に点滅

4. 接続機器が、本製品を検出すると「PTM-BAH3」として登録されます。
登録の際に、パスキーの入力を要求された場合は、『１２３４』を入力してください。

5. 画面の指示に従って、登録を完了してください。

これで設定完了です。

SRS WOW HDの効果を切り替える

SRS WOW HDの効果
SRS WOW HDの効果には4種類あり、視聴されるソースに合わせて最適な効果をお選びいただけます。ボタンを押すごとに、矢印の順番に切り替わります。

効果1：SRS TruBass → 効果2：SRS
パイプオルガンの低音再生技法を活用した、使用するスピーカーやヘッドフォンの最低再生可能周波数（f0）以下の重低音を無理なく再生させます。

効果2：SRS
録音時のミキシングの過程や、ステレオ再生過程で失われた空間情報、方向性、音のニュアンスを復元します。

効果3：SRS HD
SRS、SRS TruBass、SRS Focusの技術を融合した複合技術に加え、高域成分の音質改善を行うDefinition回路が含まれています。

効果4：SRS Focus
音像を縦方向に移動させると共に音の輪郭を明確にします。

SRS WOW HDの効果の切り替え
1. SRSボタンを2秒程度押したままにして、SRSをONにします。
※ONにした時の効果は、最後に使用した効果になります。
2. SRSがONの状態でSRSボタンを短く押します。
ヘッドフォンから「ピッ」と音が聞こえて1→2→3→4→1・・・の順番で効果が切り替わります。

SRSがOFFの状態でSRSボタンを短く押すと、ヘッドフォンから「ポーッ」と音が聞こえます。
その場合は、SRSをONにしてから再度操作を行ってください。
SRSはA2DP接続中のみ有効です。

本製品の主なボタン操作

動作	操作
ペアリングモード	電源ON ▶ ［▶Ⅱ］ 約2秒押す
再生／一時停止	接続確立 ▶ ［▶Ⅱ］ 1回押す
音量を上げる／下げる	［▼］ ［▲］ 1回押す
曲の早送り／巻き戻し※	［I◀◀］ ［▶▶I］ 押したまま
曲のスキップ	［I◀◀］ ［▶▶I］ 1回押す
SRS ON	音楽再生中 ▶ ［SRS］ 約2秒押す
SRS OFF	SRS ON ▶ ［SRS］ 約2秒押す
SRS 切り替え	SRS ON ▶ ［SRS］ 1回押す
電話を受ける	携帯電話通話中 ▶ ［▶Ⅱ］ 1回押す
電話をかける	携帯電話ダイヤル ▶ 通話中 ▶ 携帯電話でイヤフォンに通話を切り替える
通話終了	携帯電話通話中 ▶ ［▶Ⅱ］ 1回押す

※接続している機器によっては使用できない場合があります。